

第73期 株主通信

2023年1月1日 → 2023年12月31日

証券コード：4248

資源循環型パッケージング
カンパニーを目指し、
豊かで楽しい生活の創造に向け
挑戦と進化をつづけてまいります。



代表取締役社長
竹本 笑子

トップインタビュー

株主の皆様には、平素より格別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

まずは、2024年1月1日に発生しました「令和6年能登半島地震」により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。皆様の安全と、被災地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

2023年12月期の成果についてお聞かせください。

国内において、上半期は製品需要の回復が想定よりも遅れましたが、資源循環型パッケージングの売上が伸長し、さらに第4四半期以降は化粧品向け容器の受注増により、回復傾向が鮮明となりました。一方、中国では個人消費の低迷が続き、業績は低調に推移しました。また、インドはほぼ計画どおりに市場の拡大が続きしました。

以上の結果、2023年12月期の業績について、売上高は143億17百万円(前期比3.8%減)となり、利益面では原材料費や水道光熱費の負担増によって、営業利益は5億22百万円(同37.6%減)、経常利益は6億7百万円(同33.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2億94百万円(同20.1%減)となりました。

当期において、資源循環が容易に可能な製品を加えた資源循環型パッケージングが、連結売上高の24.1%を占めるまでに拡大しました。また、下半期に入り製品の販売価格の見直しも寄与し、利益率が上昇傾向に転じました。

「2030年ビジョン」の進捗についてお教えてください。

2030年へ向けた将来ビジョン「2030年ビジョン」では、当社のコンセプトを「資源循環型パッケージングカンパニー」と位置づけ、圧倒的なスピードの実現と資源循環型パッケージングの開発提案力の強化に取り組んでいます。

資源循環型パッケージングの開発に経営リソースを注ぎ、

当期においては、新たな製品コンセプトを構築してビジョン実現のための礎づくりに注力しました。大型展示会（CITE JAPAN 2023）にも4年ぶりに出展し、新製品のほかに、資源循環に向けた素材や実証実験などを発信し、多くのお客様との接点となりました。また、結城事業所の新ブロー棟が完成し、資源循環型製品向けの成形機の導入が進んでいます。さらに、欧州ではEC販売を開始しており、3Dによる設計・開発とあわせて、販売、開発の両面でデジタル化による圧倒的なスピードの基盤が構築されつつあります。

今後の課題としては、従来以上に、人材に対する投資を行ってまいります。当社の理念やビジョンをしっかりと共有し、人材の採用・育成に取り組んでまいります。

2024年12月期の見通しはいかがでしょう。

国内需要の回復が続く中で、特に資源循環型パッケージングの需要がさらに高まると想定されます。引き続き人材投資、人材育成に積極的に取り組むとともに自動化、ロボット化の推進で安定生産の実現に取り組んでまいります。

2024年12月期は、売上高152億50百万円（前期比6.5%増）、営業利益8億20百万円（同57.1%増）、経常利益8億20百万円（同35.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5億円（同69.6%増）を見込んでいます。

株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

スタンダードボトルを展開する当社は、開発、生産から販売までの一貫体制を強みとして競争力をさらに高め、世界で活躍する日本発の企業を目指してまいります。当社の使命は「世界の器文化への貢献」であり、その実現に向けて、資源循環型パッケージングの開発に引き続き力を注ぎ、Standoutなパッケージングソリューションを提供して社会に貢献してまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

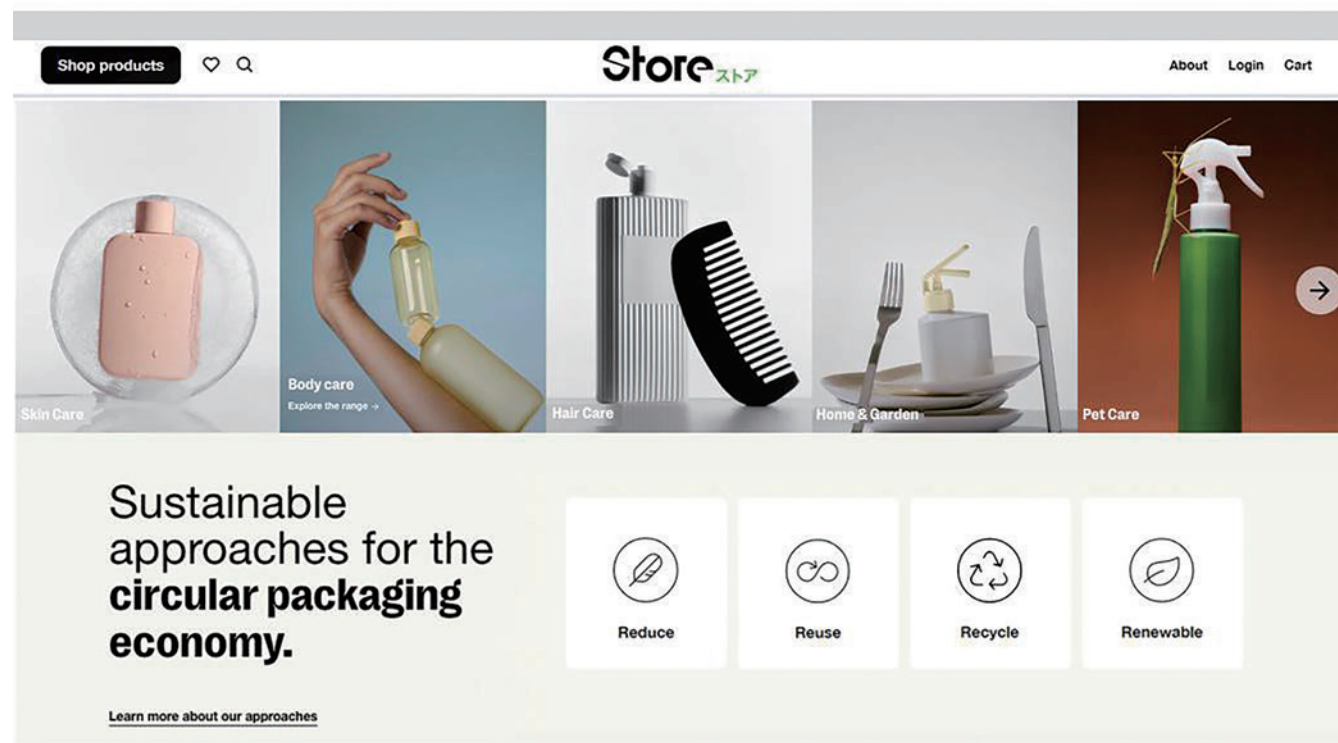
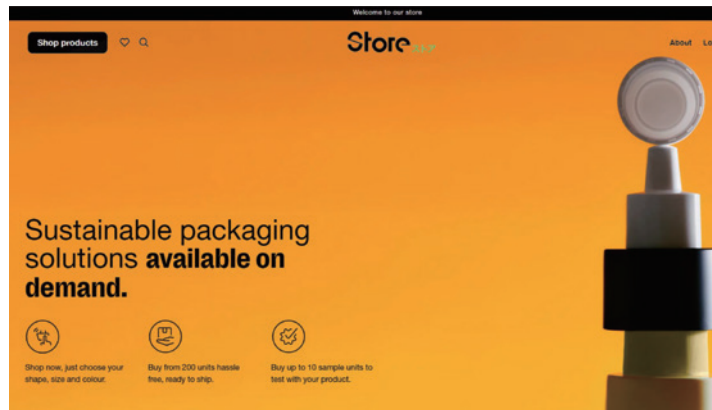
特集 欧州ECサイトの紹介

欧州市場向けインターネット販売サイトStoreストアがオープンしました！

2023年11月、欧州市場向けのECサイト「Store」がオープンしました。

EU・UKのお客様を対象に化粧品、日用雑貨用に、ボトルとキャップの組み合わせで4,400種類になる製品を在庫しており「Store」では、200個単位で販売をしています。

資源循環型パッケージングとしてReduce、Reuse、Recycle、Renewableのカテゴリーに分類して製品の紹介も行っており、環境への意識の高いお客様が製品を探しやすいサイト構成となっています。

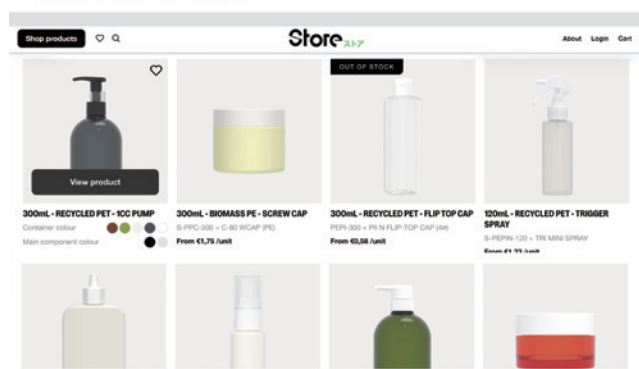
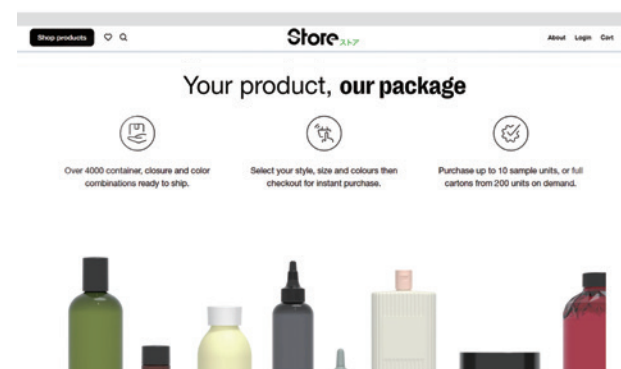


Storeストアは当社のECサイトです

ECサイトURL : <https://eu.store.takemotopkg.com/>

ECサイト開設の狙い

資源循環型パッケージングのブランド認知度の向上とともに、ECサイトの運営ノウハウの取得・蓄積を目指します。



同様のWEB販売システムを利用し、今後は日本、中国、アメリカ市場での運用も予定しています。

配当について

2023年12月期の期末配当金について、お知らせいたします。

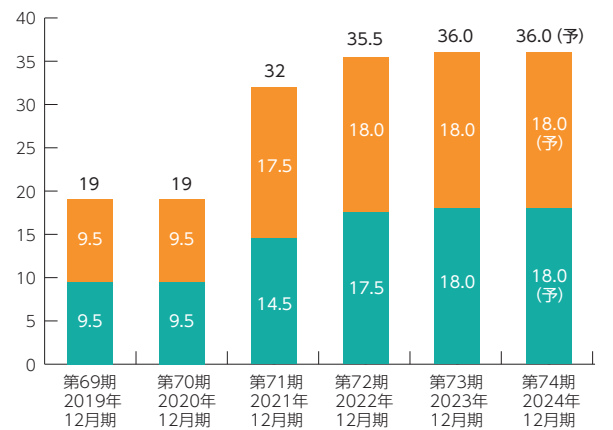
《当社の配当方針》

当社は、2024年までの期間の配当に関しては安定的な株主還元を実現する観点から純資産配当率（DOE）4.0%を目途とすることにしており、2023年12月末株主に対する期末配当金は、1株につき18円とさせていただきます。中間配当18円とあわせて、年間配当金は1株につき36円となり、前期比50銭の増配となりました。

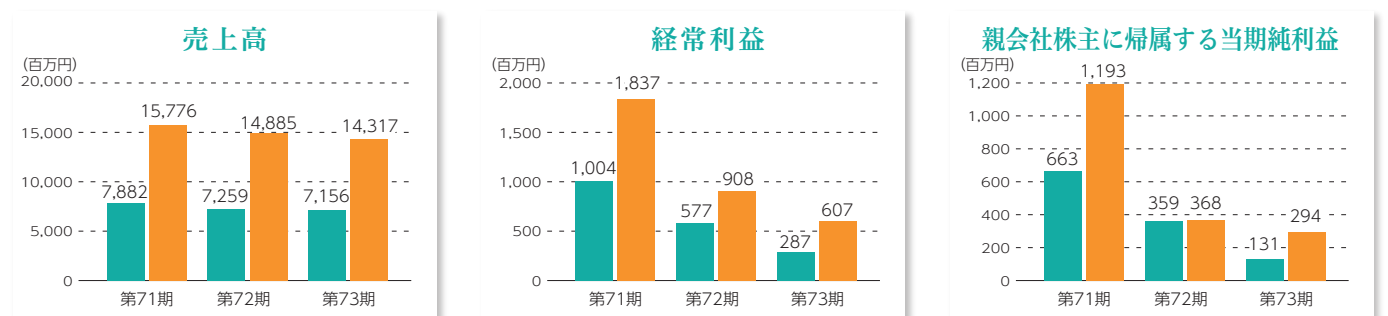
1株当たり配当金の実績と予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
来期予想（2024年12月期）	18円00銭	18円00銭	36円00銭
当期実績（2023年12月期）	18円00銭	18円00銭	36円00銭
前期実績（2022年12月期）	17円50銭	18円00銭	35円50銭

1株当たりの配当金の推移（円）
■ 中間 ■ 期末



連結業績の推移



連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第72期 2022年12月31日	第73期 2023年12月31日
【資産の部】		
流動資産	11,718	10,581
固定資産	6,900	7,338
資産合計	18,618	17,919
【負債の部】		
流動負債	4,019	4,282
固定負債	3,310	2,626
負債合計	7,330	6,909
【純資産の部】		
株主資本	10,232	9,714
その他の包括利益累計額	1,003	1,247
新株予約権	52	49
純資産合計	11,288	11,010
負債純資産合計	18,618	17,919

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第72期 2022年1月1日～ 2022年12月31日	第73期 2023年1月1日～ 2023年12月31日
売上高	14,885	14,317
売上総利益	4,107	3,818
販売費及び一般管理費	3,271	3,296
営業利益	836	522
営業外収益	89	104
営業外費用	16	18
経常利益	908	607
特別損失	0	0
税金等調整前当期純利益	907	606
法人税等	539	311
親会社株主に帰属する当期純利益	368	294

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第72期 2022年1月1日～ 2022年12月31日	第73期 2023年1月1日～ 2023年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,264	1,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 803	△ 1,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 732	△ 1,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	227	117
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△44	△887
現金及び現金同等物の期末残高	6,368	5,481

《『譲渡制限付株式』について》

竹本容器では、今後の成長を担う幹部社員に対して譲渡制限付株式を利用した報酬制度を導入することとし、2024年3月26日開催の定時株主総会において「取締役に対する譲渡制限付株式の付与のための報酬」のご承認をいただきました。

「譲渡制限付株式」は、2016年の税制改正を契機に導入された制度です。株式発行会社の役員や従業員に対して報酬として付与する株式で、議決権の行使や配当を受け取る権利はあるものの、定められた期間内の売却を制限することで、中長期的な視点での経営参画を促すことを目的としています。

当社が保有する自己株式を譲渡制限付株式として今後の竹本容器を背負う役社員に付与し、2030年ビジョンの実現を目指してまいります。

会社概要／株式の状況 (2023年12月31日現在)

会社概要

商号 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.
設立 1953年（昭和28年）5月19日
代表者 代表取締役社長 竹本 笑子
所在地 東京都台東区松が谷二丁目21番5号
資本金 8億342万1,725円
事業内容 容器の企画・開発・製造・販売

役員 (2024年3月26日現在)

代表取締役社長 竹本 笑子
常務取締役 深澤 隆弘
取締役 柳原 光浩
取締役 中川 正人
取締役 北内 和久
社外取締役（監査等委員） 穴田 信次
社外取締役（監査等委員） 田中 達也
社外取締役（監査等委員） 小川 一夫
社外取締役（監査等委員） 江野澤 哲也

株式情報

発行可能株式総数 40,997,600株
発行済株式の総数 12,529,200株
株主数 11,830名

株式分布状況



株主メモ

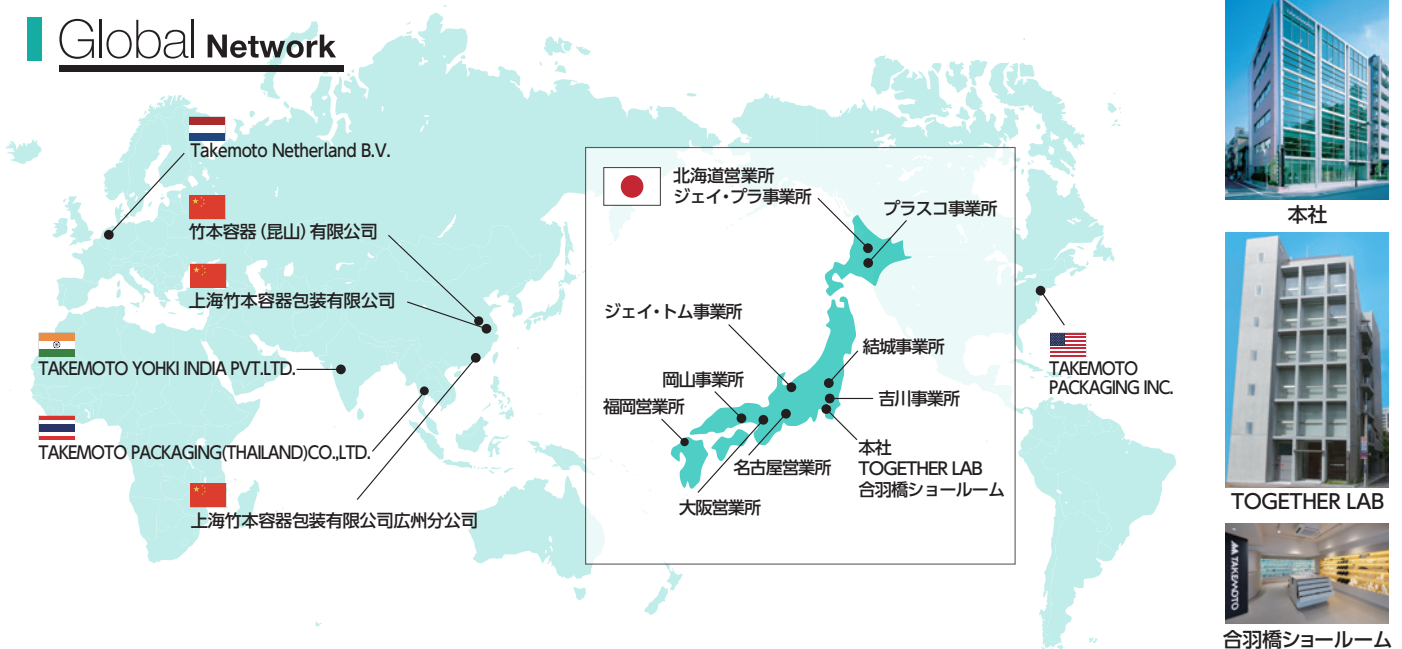
事業年度 1月1日から12月31日まで
期末配当金受領 12月31日
株主確定日
中間配当金受領 6月30日
株主確定日
定時株主総会 毎年3月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
（同連絡先） 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話0120-232-711（フリーダイヤル）
上場市場 東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法 当会社の公告方法は、電子公告としております。電子公告は当社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下のとおりです。
<https://www.takemotokk.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
竹本 笑子	2,870,000	23.85
竹本容器若竹持株会	654,600	5.44
竹本 えつこ	618,200	5.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	537,400	4.47
深澤 隆弘	535,400	4.45
竹本 雅英	426,000	3.54
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	362,100	3.01
深澤 英里子	220,000	1.83
竹本 力	200,000	1.66
山本 勝人	158,000	1.31

（注）持株比率は、自己株式（497,200株）を控除して計算しております。

Global Network



TAKEMOTO
竹本容器株式会社
<https://www.takemotopkg.com>

UD FONT
見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この株主通信は地球環境に配慮した植物油インキとFSC®森林認証紙を使用しております。

〒111-0036 東京都台東区松が谷二丁目21番5号 TEL：03(3845)6107（代表）